

地域における取組例【航空機】国内航空機産業の更なる成長に向けた課題解決を図る。

装備品メーカー等
(東京都等)

- 全国の航空機産業に携わる中核企業群（機体・エンジン・装備品）
- 国内航空機産業の国際競争力強化に向け、**各社製造におけるQCDC改善、品質管理力の強化**を図っている。

ポテンシャル
(強み)

- 日本全国の航空機関連メーカーは、**機体・エンジンの国際共同開発等を通じて一定のシェア**を獲得。
- 国際的シェアの獲得が不十分である**装備品分野については、今後更なる伸びしろ**が期待される。

取組内容

- 国内装備品メーカー、関係省庁、関係自治体、研究機関が一体となった**環境試験拠点整備**
- 航空機の高い品質保証を支える**非破壊検査専門人材育成のための支援体制の構築**

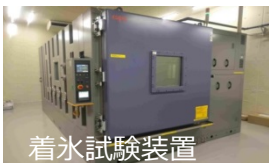
目的

国内航空機産業の更なる成長に当たって抱えている、共通課題の解決及び国際競争力強化

環境試験等インフラ整備



- 国内装備品メーカー等にとってより優先度の高い環境試験設備を、長野県立飯田工業高校跡地に集約。
- 着氷試験装置（28年度：右写真）の導入をはじめ、「環境試験等インフラ整備WG」の開催を通じて、随時拠点の整備を実施。



人工的に発生させた寒冷な流れの中に試験体を置き、表面が着氷した場合にも正常に作動することを確認する試験。

NAS410に基づく非破壊試験技術者育成体制(案)

METI
関係省庁

連携

連携

運営委員会
(ボード)

運営委員会（ボード）は、主に国内川下企業の資格保持者で構成される。

承認

連携

承認

訓練機関
【公設試等】
フォーミュラトレーニングの実施

OJT機関
【民間企業】
OJTの実施

試験・認証機関
【公設試等】
試験の実施